



# 未来を夢見て

2020/10/27 No. 42

## 体育見学会スタート

### 来年度からの「行事」の形を模索して

10月26日（月）さわやかな秋空の下、体育見学会が11月6日（金）までの予定でスタートしました。今年度本校では、新型コロナウイルス感染症対策のために、学習参観もまだ実施していません。そんな中で、考え出された（正確には「出していただいた」）のが体育見学会でした。

運動会ではありません。ですからイベント的な要素は全て排除して、あくまで「体育の授業」です。初めての試みです。ですから先生方にも不安の方が大きかったように思います。一方、蓋を開けてみると、直近のご案内であったにも関わらず、初日からたくさんの保護者の皆様に子供たちの学習の様子を参観していただくことができました。

まだまだ感染症の収束が見えない状況の中で、今後、学習参観をどう行うのか、次年度の行事は果たして実施可能なのかなど、難しい問題ではありますが、今は「やれることをやる」という姿勢が求められるのではないのでしょうか。

そういう意味では、今年度は入学式も30分で2回に分けて実施しましたが、案外この形がこれから本校ではスタンダードになっていくかも知れません。



さて、10月に入って、校内研究も折り返しを迎え、4年生の先生方が授業研究に取り組んでいます。先週は畠山先生、そして今日は田代先生が授業を提案していただきました。

単元は「一つの花（今西 祐行）」です。長く4年生の教材として扱われてきた作品で、教職にある我々なら、だれでも一度は読んだり、研究授業で教材研究をしたりした経験がある作品です。

4年生の子供たちは学習訓練が行き届いていて、1組さんでも4組さんでも先生の発問にハンドサイン（手で意思表示する）を上手に使いながら、先生や友達と対話的に授業が展開されていきます。



今日の田代先生の授業の中で「みんなコスモスの花見たことあるの?」と先生が子供たちに問いかける場面がありました。写真は9月上旬、私がよく行く河原に咲いていたコスモスです。

秋になってコスモスの花を見かけるたびに、私はこの「一つの花」を思い出します。そのたびに戦争がない平和な世の中をありがたく感じると同時に、お父さんがゆみ子に渡した「一つの花」の意味を今の自分に重ねて考えてみます。

今日参観した1組の子供たちは、授業の最後でカードにこの場面での「一つだけ」をしっかりと考えてくれていました。すぐ書ける子、すぐぐ悩んだ末に書き始めた子、最後まで書けなかった子・・・どのお子さんにも共通していたのは、真剣に課題に向かい会おうとする姿でした。4年生の2クラスの授業を参観させていただき、子供たちがとても育っていることを改めて感じました。授業提供していただいたお二人の先生方、お疲れ様でした。

（文責：手代木）